



第101号 2024年 4月 1日

発行所/神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) https://www.fukusei.jp/



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

神山復生病院の 135 年と未来

理事長 広瀬研吉

神山復生病院は、テストウイド神父が1889年（明治22年）の5月22日に開設しました。それから数えて2024年の今年が135年目にあたり、また、第6代院長の岩下壮一神父の生誕135年にもあたります。これを記念して、5月16日（木）の午後に、感謝のミサ、岩下壮一神父展の開会、祝賀会を予定しております。祝賀会では、永年勤続表彰も行われます。皆様のご参加をお待ちしています。

この135年を契機に、神山復生病院の未来のビジョンを描いていくことが必要です。その際、神山復生病院を創立されたテストウイド神父の志を大事にしたいと思えます。キリストの愛に基づいて、病める方や弱い方に寄り添うことができるような病院のあり方を基本にして、ビジョンを描いていくことができればと思っています。去る3月16日の評議員会で、将来に向けて土地の有効利用も考えるべきであるのご意見が出されました。このような土地の有効利用も含めてカトリックの病院としての役割をより良く果たせるような未来のビジョンを描いていくことができればと思っています。

新しい年度の櫻の季節を迎えました。今年度も皆様と一緒に病院の発展のために取り組んでいくことができればと願っています。

さまざまの事おもひ出す櫻かな

芭蕉



令和5年度神山復生会 成果・研究発表会

3月14日に令和5年度神山復生会 成果・研究発表会が行われました。皆さん日常の業務で忙しい中課題に取り組み、その成果を発表してくださいました。



【サイバー攻撃に対する取り組み2】

庶務 後藤 和也

昨年に引き続き、サイバー攻撃について取り上げました。今回は、休日や夜間にサイバー攻撃が発生しても迅速に対応が出来るよう、想定訓練の必要性について発表しました。

想定訓練を実施するためには、サイバー攻撃が発生しているかが判るための判断基準に加え、発生後、誰に連絡したら良いか連絡システムを明確にする必要があります。

今後は、定期的に院内研修や説明会の場を設け、判断基準について周知を行っていきたいと思います。



【看取りに対するホスピス病棟看護師の心情】

ホスピス病棟 中垣内 美咲

入院時から患者様、ご家族様と関わらせて頂いていると、思い出話はもちろん、一緒に笑ったり、時に悲しんだりと様々な時間を共有させて頂いています。その中で患者様のお看取りは看護師にとっても、とても悲しい事です。今回、お看取り時の看護師の心情についてアンケート調査をしました。結果、ネガティブな感情もありましたが、各々が話しやすい環境で誰かに共有することで気持ちの整理ができ、ポジティブな感情へと変化していくことがわかりました。お看取りに立ち合わせて頂く事は、その方の人生の最期に立ち合わせて頂く事。今後も感謝の気持ちを持って関わっていきたいです。またネガティブ、ポジティブともに感情を共有し合って看護師として、人として成長していきたいです。



【5S活動を通じた外来の業務改善について】

外来 木村 眞由美

昨年のQC活動でおこなった「5S」について、外来スタッフからアンケートをとり、そこから分かったことや感じたこと、業務改善に繋げるための、今後の課題について発表させてもらいました。緊張で、皆さんにきちんと伝えられるか不安でしたが、無事終えることができ、ほっとしています。また他部署の発表を聞いて、忘れていたことを思い出したり、感心したり、感動したりと、学びの多い成果発表会でした。



【転倒・転落と薬の関係】

薬剤課 永井 祐佳

院内成果研究発表会には、今回で3度目の参加となりました。今回は、以前から興味があり、医療安全にも関わる「転倒転落と薬の関係」を院内のインシデントレポートを用いて、1年間に転倒転落した患者さんが服用していた薬を調査し発表しました。今回の調査で当院においても、転倒転落に薬剤が影響していることがわかりました。治療に必要な薬でも、副作用や転倒転落への影響を及ぼす可能性があることを忘れず、周りとの協力していきます。



【寄り添う看護とは ～看護専門職者としての8年間を振り返る～】

介護医療院 山口 玲奈



私の看護観を振り返る機会を頂いたことで、看護師の原点を見つめ直すきっかけとなりました。患者だけではなく家族のコミュニケーションも大切にしながら広い視野をもった看護師として成長していきたいと思います。まだまだ未熟な事もたくさんありますが、常に向上心をもって仕事に取り組んでいきたいと思っています。今回、貴重な機会を頂いたことにとっても感謝しています。

【栄養管理と食事支援を適切に行うために】

栄養課 鈴木 一枝



私が神山復生病院に入職して7年が過ぎ、今までの振り返りとして、今回初めて成果・研究発表会に参加させて頂きました。「栄養管理」とは？患者様の栄養状態を良好に保つこと。そのためには患者様を知る＝寄り添うことが大切だと考え、病棟訪問に力を入れてきました。栄養課として、一人でも多くの患者様が「美味しかった」と笑顔になる食事の提供と「個別対応」の充実に努めています。

「食べることは生きること」私の好きな言葉であり、患者様への願いでもあります。ホスピス・介護医療院では最後の食事が突然にやってきます。いつ訪れるかわからない最後の食事を美味しく召し上がって頂くために、これからも一食一食を大切に提供していきます。

【Aさんとのかかわりで心に残ったこと～連携・ACPを振り返る～】

訪看マリア 桐生 彩花



私は文章にまとめるのが苦手で、Aさんとの関わりをまとめ始めたときはどのようにまとめたらよいか悩みました。関わっていたスタッフに、一緒に振り返りをさせていただき、チームで協働していたことを思い出しました。本人や家族のことを考えて行動することが楽しくやりがいのあることであると再度実感することができ、今回振り返り、発表の機会がいただけたことに感謝しています。今後も一人一人丁寧に支援ができるよう、振り返りながらケアの質を高めていきたいと感じました。



今回のおすすめ

無双直伝英信流居合道 無相会



私は昨年10月、約20年ぶりに居合道復活を遂げました。20年前にテニス肘を患い、居合道を続けることが困難になりましたが、テニス肘もよくなり、再び居合道を始めることになりました。居合道教士八段 山崎卓司先生の門下生として、無双直伝英信流の無相会に再入会させていただき、毎週金曜日に稽古をしています。若い頃は、力に任せて刀を振っており、そのためテニス肘になりました。改めて教わると、力ではなく無理・無駄・無法を削ぎ落すことが大切と感じています。剣の道は歳を取ってからでも始められるのが最大の利点であり、自分の心の弱さを痛感でき、心身の鍛錬ができます。居合道は心身ともに鍛錬できる最高の武道だと思います。読者のみなさまにもお勧めいたします。

我と思わん方は、いざ！

紹介者 (マリアの家) 小野雄大

外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(中原)	内科(北村) 皮膚科(宗田)	休診	内科(江藤)	内科(若杉)	内科(第1.3.4中尾) (第2.5岡部) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

带状疱疹ワクチンの接種の予約を承っております。

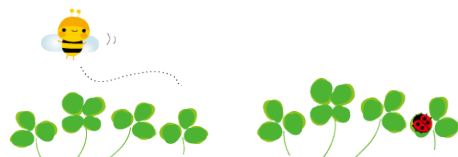
皮膚科外来予定表

5月以降の診察はHPにてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



宗田昂己 医師	4月 2日(火)・9日(火)・16日(火)・23日(火)・30日(火)
太田有史 医師	4月 6日(土)
北田裕樹 医師	4月 13日(土)
太田真由美 医師	4月 20日(土)
福地 修 医師	4月 27日(土)

皮膚科外来は、毎週火曜日と土曜日の午前に行っています。



くすりのあれこれ

はじめまして。神山復生病院で働く薬剤師です。
これから、不定期ですが薬に関することを「かえでの森」で発信していこうと思っています。
今回は「お薬手帳」についてです。お薬手帳は、「いつ、どこで、どんな薬が処方されたか」を記載する手帳です。
その他にも自分のアレルギー・副作用歴や過去にかかった病気を書いておくことができます。お薬手帳をいつも持ち歩いていらっしゃいますか？この手帳は、持ち歩くことで有効に使うことができます。
例えば、薬の飲み合わせや同じ薬が処方されていないか確認できます。また、緊急時や災害時、旅行先などで初めての病院に行った時にも、お薬手帳を見せることで自分の情報を早く正確に伝えることができます。そのため、医療機関や薬局ごとに分けて、1冊のお薬手帳にまとめておくことが大切です。
最近では、スマートフォンのアプリで管理できるお薬手帳もあります。
自分の飲んでいる薬の情報を管理することで、日頃からの健康管理に繋がります。
まだ持っていない方は、ぜひ活用してみてください。



薬剤課 永井祐佳

編集後記

河津桜も葉桜になりソメイヨシノが开花する時節になりました。昨今は寒暖の差が激しく、体調を整えることがなかなか難しいです。しかし、日に日に春を感じる話を聞くようになりました。春を迎えるのが楽しみです。花粉症はつらいですが・・・。

次回号もお楽しみに。

